



一目千本桜 (写真提供：大河原 RC)

2024-2025 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2520

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

GOVERNOR:
Tsuyoshi SATO

5

月信 Vol.11

2025
MAY

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
青少年奉仕月間によせて	3
インターシティミーティング開催報告	4
ロータリー平和フェロー交流会	6
新入会員紹介・退会会員報告・寄付報告・行事予定表	7
編集後記	8



青少年奉仕月間に寄せて

国際ロータリー第2520地区
2024-2025年度 ガバナー

佐 藤 剛

Tsuyoshi Sato

5 月は青少年奉仕月間です。

「すべてのロータリアンは青少年の規範」。この言葉は、ロータリークラブが存在する地域社会における児童と青少年への献身を表すものとして、1949 年に国際ロータリー理事会によって採択されました。現在に至るまで、青少年への奉仕は私達ロータリアンにとって重要な仕事になっている事は言うまでもありません。正式プログラムとしては、インターアクト・ローターアクト・ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）・ロータリー青少年交換プログラムが挙げられます。もちろん、これらのもののみならず各ロータリークラブが主催・共催している事業、例えば、ボーイスカウト、ガールスカウト、各種運動競技チーム、障害児童センター、学校の安全パトロール、夏期キャンプ、児童養護施設、レクリエーション場、安全運転講習会、各種共進会、育児センター及び子供病院への協力・協賛などがあります。また、模擬就職面談といった職業奉仕と同時にに行われているものもあります。最近ではこども食堂も社会奉仕活動ではあるものの、栄養補給のみにとどまらず、ゲームや学習支援も加えてコミュニケーション能力及び、社会への適応力向上も兼ねた青少年奉仕活動の柱のひとつになっております。もちろん母子の健康にも関連しております。

さて、これらの事業の主な目的は何でしょう。模範、規範とは解り易い言葉でいうと「お手本」なのです。ロータリアンが青少年と接し、行動しているその背中（姿）を見せる事だと思います。青少年、特に幼児から小中学生までは大人の行動を真似します。真似されるに相応しい接し方として良いテキストがあります。纏めてしまえば「愛情をもって接する」なのですが、より具体的な言葉で教えてくれる詩があ

ります。

アメリカの家庭教育専門家であるドロシー・ロー・ノルトが 1954 年に発表した詩です。日本では 1990 年に紹介されました。原題は Children Learn What They Live で、訳書では「子は親の鏡」となっております。前半部分は反面教師的な親の姿が続いておりますので、青少年に接する態度の指針となっていそうな後半部分を以下に引用致します

- ⑧励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
 - ⑨広い心で接すれば、キレる子にはならない
 - ⑩誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
 - ⑪愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
 - ⑫認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
 - ⑬見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
 - ⑭分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
 - ⑮親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
 - ⑯子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
 - ⑰やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
 - ⑱守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
 - ⑲和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる
- 上記の事柄を意識しつつ青少年関連事業を進めていけば従来とはまた違った導き方になってくるように思います。⑲のように、最後に行きつく先は、やはり家庭なのですね。



青少年奉仕月間に寄せて

青少年奉仕委員会

委員長 早坂 竜太 (古川東RC)

5月は、若い人々の育成を支援する全てのロータリー活動に焦点を当てる「**青少年奉仕月間**」です。この月間中、各ロータリークラブは、会報やHP等に「**各ロータリアンは青少年の模範**」のスローガンを利用し掲載するよう奨励されています。

第2520地区の青少年奉仕委員会は、次の4委員会で構成されています。インターアクトは、12～18歳の中・高校生が対象で、ボランティア活動や他クラブとの交流をもってロータリー精神を養っています。ローターアクトは2019年の規定審議会でRIへの加盟(RI会員)が承認され、ロータリーのパートナーとして精力的に活動しています。ライラ(RYLA)では、14歳～30歳のロータリーファミリーを対象に、リーダー育成のための指導者養成研修を実施しています。青少年交換委員会は、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、異文化を理解し、自ら考え率先して行動する力を育てることを目指しています。参加者からは、海外に多くの友人ができ、奉仕と文化理解を生み、自身のアイデンティティーが養われた等の報告が寄せられています。

『**青少年奉仕とは**』 ※標準ロータリー定款第6条「五大奉仕部門」の5より

①指導力養成活動、②社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、③積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、**青少年並びに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである**

①指導力養成活動・・・RYLA セミナーの開催、IAC・(RAC)の活動による指導力養成など

②社会奉仕プロジェクト・国際奉仕プロジェクト

への参加・・・IAC・(RAC)の活動など

③積極的世界平和と異文化の理解を深め育む・・・青少年交換(長期・短期)など

※①～③の連携を深め ➡ さらに、**青少年・若者によって好ましい変化がもたらされる**

●『若手ロータリアンの育成には**青少年奉仕活動(IA・RYLA・青少年交換等)**への参加・参画が**近道**』だと考えます。今後の奉仕活動において若手会員の参画を具体的に検討して下さい。

●全てのロータリークラブには五大奉仕の「青少年奉仕委員会」はあるものの、IACやRACなどのスポンサーとなっていないクラブが多いのも実情です。

・各クラブが、地域の青少年と関わる独自の活動を継続しながらも、**近隣のIAC及びRACの活動に参加することや、従業者にIAC・RACへの入会を推薦**するなどに尽力頂くこともロータリアンとして青少年奉仕を学び成長できる大きな機会となります。

・また、RYLA・青少年交換(長期・短期)等に**会員の子弟や従業者を参加させる**ことにより、青少年奉仕そのものと世界平和や異文化を深く理解する良い機会となります。

私は、IA、(RA)、RYLA、青少年交換(長期・短期)等の**青少年奉仕(若者の育成、支援、連携、地位向上)こそが“未来への希望”であり、持続可能な社会の構築に直結する**ものと考えています。青少年奉仕月間にあたり、まずは「青少年奉仕」について改めて考え、前述のような具体的な取り組みについて検討頂くようご協力をお願いします。



第2分区インターシティミーティング開催報告

I M実行委員長

谷村 康弘 (北上 RC)

去る3月23日(日)、北上市にあるプランニュー北上において第2分区インターシティ・ミーティング(以下、IM)を開催いたしました。

当日は快晴の中、佐藤剛ガバナー、加藤雄彦ガバナーエレクトをはじめ、パストガバナー・地区役員をお迎えし、分区内10クラブを合わせ、総勢134名の登録をいただきました。

第一部、開会行事では伊藤晴友ガバナー補佐が、今回のIMテーマである「ロータリー・マジックの宝箱」へ身近な課題は宝の山〜について、課題に目を向け「気づく」ことで多様な方向性が得られることの必要性を説明いたしました。主管である北上RC高橋敏彦会長は、各クラブが直面する課題について、パネルディスカッションを通じて「共有する」ことの意義を説明、佐藤ガバナーからは、IMの目的である「学び」と「究極の親睦」の大切さを説いていただきました。

第二部、パネルディスカッションでは分区内の3ゾーンにてパネラーを担当いただき、佐藤ガバナーを交え「会員増強」「財政」「各クラブの重要取組」の3テーマに沿って議論を交わしました。各課題への対応や、地域やIACとの共同活動について学びを深めました。

第三部、交流懇親会は、北上翔南高等学校鬼剣舞部の皆さまによる勇壮な演舞とともに開始、多くのロータリアンが大いに親睦を深めてくださったものと思います。

多くのご協力の下、盛況な中で幕を閉じることができ、深く感謝いたします。本当にありがとうございました。



開会行事の様子



第3分区インターシティミーティング開催報告

ガバナー補佐

小野寺 勘治 (一関中央 RC)

2024-2025年度の第3分区インターシティミーティングは、平泉RCクラブが主催し、一関RCクラブが支援する形で令和7年2月15日(土)に実施した。

今年度は、平泉中尊寺金色堂の落慶900年を迎え、様々な式典が開催されており、それを祈念したコンサートを実施。主催者の挨拶後、佐藤剛ガバナーの来賓挨拶に続き、各クラブの代表者によるクラブの現状等の報告があり、一旦、例会を終了。その後、メインの姫神コンサートが始まり、スクリーンに映し出される平泉文化遺産の映像とともに、シンセサイザーによる高い音色に魅了されながら、約1時間の演奏が終了した。

登録者等概要は次の通り。ガバナー 佐藤剛、第3分区ガバナー補佐 小野寺勘治、今泉直樹、気仙沼RC(6名)、気仙沼南RC(5名)、大船渡RC(6名)、大船渡西RC(8名)、陸前高田RC(5名)、千厩RC(8名)、花泉RC(8名)、平泉RC(1名)、一関RC(6名)、一関中央RC(6名)

次 第	14:00	開会点鐘、国歌斉唱、ロータリーソング奉仕の理想、主催者挨拶
	14:15	ガバナー挨拶
	14:20 ~	各クラブ代表挨拶(10クラブ)
	14:45	閉会点鐘
	15:10	「平泉創建900年姫神コンサート」 姫神/星吉紀 様
	16:30	閉会



第7分区インターシティミーティング開催報告

I M実行委員長

岩 渕 雄 二 (仙台奥羽 RC)

2025年3月8日(土)、第7分区インターシティミーティング(IM)が「TKP ガーデンシティ仙台」にて開催されました。幹事クラブを務めた仙台奥羽ロータリークラブは、日頃の例会同様、現地とオンラインのハイブリッド形式で開催。ホテルを使用せず、会場設営や運営をすべて会員の手で行うなど、私たちらしさを随所に取り入れたIMとなりました。

今回のIMでは、11時から14時までという短時間開催に加え、食事の有無を選べる仕組みや、クラブ規模に応じた会費設定を導入し、DEI(多様性・公平性・包摂性)への配慮も意識しました。参加者の負担を軽減しながらも、一人ひとりが主体的に関われる場を目指しました。

テーマは「ワクワクロータリー」。基調講演には、火星ローバーの開発に挑む「ARES Project」をお招きし、夢を追う若者たちの情熱に、会場全体が心を動かされました。各クラブからは「ワクワクする活動案」の発表が行われ、アイデアと熱意に満ちた交流の場となりました。

新たな可能性と喜びに満ちたこのIMは、多くの称賛をいただき、大きな成功を収めました。私たちはこの日を、より魅力あるロータリーへの第一歩として胸に刻み、今後の活動につなげてまいります。



ARES Projectの皆さんと記念撮影



第8分区インターシティミーティング開催報告

ガバナー補佐

小 川 隆 秀 (村田 RC)

2024-2025年度第8分区IMを村田ロータリークラブがホストクラブを務め、3月15日(土)に村田町の宮城県クレイ射撃場の大会議場にて開催いたしました。加藤ガバナーエレクトはじめ52名の会員の参加により盛大に行われました。

IMのメインテーマを『クラブのマジックへの挑戦』とし、サブテーマ『あなたのクラブで勇気をもって一歩を踏み出したものは何ですか』について、各クラブの実施状況を発表していただきました。クラブからは「難しいテーマへの取組にかなり苦勞をした」との言葉もありましたが、新たな変化を求めて勇気を奮って取り組んだことを熱く語っていただきました。

それぞれのクラブで取り組んだ内容には、小さなことから大きなことまで多々ありましたが、今後の各クラブにおける更なる活性化への挑戦に大きな希望の灯があることを実感しました。

加藤ガバナーエレクトから、各クラブの発表への感謝が述べられ、次年度ガバナーへの新たな取り組みについての抱負をいただき、出席者一同からは大きな拍手でお開きとなりました。



加藤ガバナーエレクトのご挨拶



ロータリー平和フェロー交流会

国際基督教大学大学院の平和フェローが災害復興と平和構築について学ぶため、2025年3月22日（土）から24日（月）に仙台市において東北研修旅行を実施しました。菅原裕典パストガバナーにご尽力いただき、第2520地区と平和フェローの交流会を3月22日（土）夜に、東洋館（仙台市）において実施しました。国際基督教大学ロータリー平和センター長の新垣修様からお礼状を頂戴しましたので、下記に掲載いたします。

国際ロータリー第2520地区

ガバナー 佐藤 剛 様

パストガバナー 菅原 裕典 様

国際ロータリー第2520地区ご関係者の皆様

国際基督教大学
ロータリー平和センター
センター長 新垣 修

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、本学のロータリー平和フェロー22期生・23期生を大変温かく迎えていただき、誠にありがとうございました。

今回の東北研修旅行の内容は大変に濃く、充実したものになりました。初日に東北大学災害科学国際研究所の小野先生、ゲルスタ先生より講義を賜った後、荒浜小学校を訪問し津波の爪痕を目の当たりにしました。また、翌日には、名取市閼上地区を訪問し、震災復興伝承館、佐々木酒造にて、地震・津波による被災の経験と復興への道のりについて丁寧にお話をいただきました。様々な角度から東日本大震災の当時の被災状況について学び、悲しみを体感し、学生は皆一様に変化を受け、災害・防災という観点から平和について決意を新たにす時間となりました。

またロータリアンの皆様には大変にお忙しい中、楽しい懇談と夕食の時間を設けていただき、誠にありがとうございました。日本の伝統文化を感じられる素晴らしい空間において楽器の演奏やスピーチを賜り、初めての訪問にもかかわらず、大変温かくご歓待いただき心より感謝申し上げます。フェロー一人ひとりと丁寧にお話くださり、心から楽しんでいる様子が見て取れました。また、一部の学生に対して細やかな食事のご配慮もいただき、大変ありがたく御礼申し上げます。

今回の東北研修旅行において、実際に自分の目で見たこと、耳で聞いたことを、それぞれのフェローがしっかりと受け止め、この経験を今後の平和研究に生かし、平和に繋がる活動を行ってほしいと願っております。

末筆ではございますが、今回も大変貴重な機会を与えていただきましたことに改めて感謝申し上げますとともに、教職員一同、ロータリー平和プログラムの更なる充実に励んで参りますので、引き続きお力添えを賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具



新入会員紹介

 盛岡西 RC は せ が わ な か ひ さ 長谷川 崇久 2025.3.1 入会 OA機器販売	 盛岡南 RC す が ま よ し と 須釜 義人 2025.4.1 入会 損害保険	 北上 RC さ とう ま ゆ み 佐藤 真弓 2025.3.4 入会 サービス業	 大船渡 RC にい ぬ ま ま さ や 新沼 雅也 2025.4.2 入会 プロイラー	 築館 RC み う ら ひ ろ み 三浦 弘美 2024.12.1 入会 社会保険労務士	 古川東 RC さい とう ひろ き 齋藤 裕樹 2025.2.12 入会 新聞・放送業
---	--	---	---	---	--

 塩釜 RC き く ち せい えつ 菊地 誠悦 2025.3.21 入会 食品機械販売	 二戸 RC い づ かい しの 男 岩下 石男 2025年3月27日ご逝去 (享年78歳) 2006年2月28日入会
--	---

退会会員報告

クラブ	氏 名	職業分類	退会日
盛岡 RC	熊 谷 隆 司	商事弁護士	2025/3/31
盛岡 RC	三 原 康 展	住宅開発	2025/3/31
盛岡 RC	村 上 陽 人	生命保険	2025/3/31
盛岡 RC	小 川 直 樹	生命保険	2025/3/31
盛岡 RC	齊 藤 和 好	医学 外科	2025/3/31
盛岡 RC	芝 本 勇 輔	証券業	2025/3/31
盛岡 RC	渡 辺 政 道	電気工事	2025/3/31
盛岡南 RC	石 戸 保 光	損害保険	2025/3/27
気仙沼南 RC	中 田 盛 久	生命保険	2025/3/31
石巻西 RC	石 川 英 彦	生命保険	2025/3/21
古川 RC	丹 野 明 子	傷害保険業	2025/3/31
古川東 RC	安 部 誠	電気事業	2025/3/25
仙台 RC	高 橋 智 尚	生命保険	2025/3/11
仙台 RC	小野木 喜恵子	郵便	2025/3/11
仙台 RC	千 釜 章	環境調査	2025/3/11
仙台 RC	阿 部 雅 一	都市銀行	2025/3/11
仙台 RC	長 沼 博	電気工事	2025/3/25
仙台 RC	渡 辺 崇	旅行斡旋	2025/3/25
仙台 RC	竹 下 鉄 洋	生命保険	2025/3/25
仙台 RC	水 上 淳一朗	損害保険	2025/3/25
仙台 RC	佐 野 寛 人	航空運輸	2025/3/25
仙台 RC	岩 城 大 一	調査サービス	2025/3/25
仙台 RC	原 直 人	損害保険	2025/3/25
仙台 RC	中 村 出	証券業	2025/3/25
仙台 RC	明 石 征 大	生命保険	2025/3/25
仙台レインボー RC	大 西 佑 季	生命保険	2025/3/31
仙台南 RC	長 沼 賢 治	総合証券業	2025/4/1
仙台北 RC	宮 川 隆太郎	総合建設業 - 中央	2025/3/31
仙台北 RC	渋谷 泰 宏	OA 機器販売	2025/3/31
仙台北 RC	佐 藤 秀 樹	清涼飲料水販売	2025/3/31

寄付報告 (3月)

ロータリー財団

認 証	所属クラブ	氏 名
マルチプル・ ポールハリス・フェロー	盛岡 RC	菅 原 浩 幸
	盛岡中央 RC	南 郷 成 民
	盛岡中央 RC	大 村 喜代子

ロータリー米山記念奨学会

表彰名	所属クラブ	氏 名
米山功労者マルチプル	盛岡 RC	菅 原 浩 幸
	仙台 RC	吉 田 仁 秋
	仙台 RC	大 槻 昌 夫
米山功労者	北上 RC	金 田 由紀子

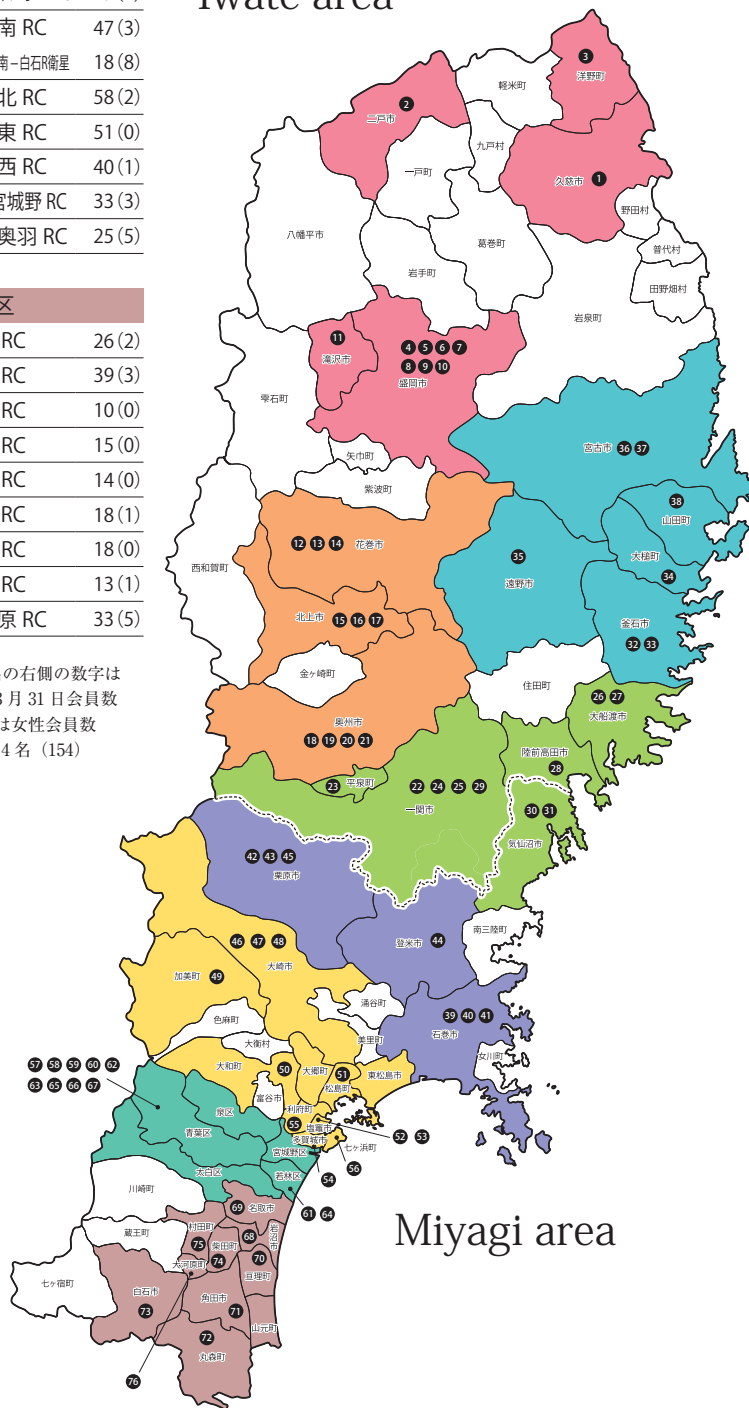


2024-2025年度行事予定表 (5・6月) 5月は青少年奉仕月間です

日 程	行 事	場 所
5月	10日(土)	R L I 研修パートⅢ 岩手 いわて県民情報交流センター (アイーナ)
	10日(土)-11日(日)	第 17 回全国 RYLA 研究会広島会議 広島 安芸グランドホテル
	11日(日)	次期ガバナー補佐会議 宮城 仙台育英学園高校 (宮城野校舎)
	11日(日)	地区ラーニングアセンブリー (DLA) 宮城 仙台育英学園高校 (宮城野校舎)
	13日(火)	行動計画推進リーダー会議 オンライン
	17日(土)	佐沼 RC60 周年記念式典 宮城 ホテルサンシャイン佐沼
	24日(土)	第 1 分区 I M 岩手 ホテルメトロポリタン盛岡 NW
	31日(土)	第 9 回日台親善会議 北海道 グランドメルキュール札幌大通公園
6月	7日(土)	第 28 回 RI 日本青少年交換研究会青森会議 青森 青森ホテル他
	21日(土)-25日(水)	カルガリー国際大会 カナダ



Iwate area



Miyagi area

第一分区	会員数	第四分区	会員数
1 久慈 RC	25 (1)	32 釜石 RC	16 (1)
2 二戸 RC	45 (5)	33 釜石東 RC	31 (3)
3 種市 RC	17 (0)	34 大槌 RC	6 (0)
4 盛岡 RC	63 (2)	35 遠野 RC	9 (2)
5 盛岡北 RC	34 (3)	36 宮古 RC	27 (3)
6 盛岡西 RC	16 (2)	37 宮古東 RC	21 (1)
7 盛岡南 RC	45 (1)	38 山田 RC	21 (1)
8 盛岡東 RC	25 (2)		
9 盛岡中央 RC	23 (4)		
10 盛岡西北 RC	43 (5)		
11 盛岡滝ノ沢 RC	4 (3)		

第二分区	第三分区	第五分区	第六分区	第七分区	第八分区
12 花巻 RC	22 花泉 RC	39 石巻東 RC	46 古川 RC	57 仙台 RC	68 岩沼 RC
13 花巻南 RC	23 平泉 RC	40 石巻西 RC	47 古川東 RC	58 仙台泉 RC	69 名取 RC
14 花巻北 RC	24 一関 RC	41 石巻南 RC	48 岩出山 RC	59 仙台青葉 RC	70 亶理 RC
15 北上 RC	25 一関中央 RC	42 栗駒 RC	49 加美 RC	60 仙台冠 RC	71 角田 RC
16 北上西 RC	26 大船渡 RC	43 築館 RC	50 大和 RC	61 仙台レインボー RC	72 丸森 RC
17 北上和賀 RC	27 大船渡西 RC	44 佐沼 RC	51 松島 RC	62 仙台南 RC	73 白石 RC
18 岩谷堂 RC	28 陸前高田 RC	45 若柳 RC	52 塩釜 RC	63 仙台北 RC	74 柴田 RC
19 前沢 RC	29 千厩 RC		53 塩釜東 RC	64 仙台東 RC	75 村田 RC
20 水沢 RC	30 気仙沼 RC		54 多賀城 RC	65 仙台西 RC	76 大河原 RC
21 奥州水沢東 RC	31 気仙沼南 RC		55 利府 RC	66 仙台宮城野 RC	
			56 ケー浜 RC	67 仙台奥羽 RC	

※クラブ名の右側の数字は
2025年3月31日会員数
()内は女性会員数
合計 2,014 名 (154)

今年度は、地区内のクラブが紹介する“地域のステキな場所・モノ”の写真をクラブに提供していただきます。そして写真を提供してくれたクラブの紹介をいたします。

一目千本桜 (ひとめせんぼんざくら) 宮城県柴田郡大河原町

白石川の土手沿いに広がる桜並木は、春になるとピンク色の花が満開となり、訪れる人々の心を魅了します。桜の色と川の清流、そして空の色が絶妙に調和し、その先に広がる蔵王連峰の残雪が、まるで絵画のように美しいコントラストを生み出しています。自然の織り成す調和が目の前に広がる絶景です。このソメイヨシノの桜並木は、毎年、県内外さらには国外から多くの見物客を迎え、一大イベント「おおがわ桜まつり」が盛大に開催されます。

クラブ紹介 大河原 (おおがわら) ロータリークラブ

大河原ロータリークラブは、1968年2月5日、28名の会員にて発足し、これまで57年間に亘り地域社会の発展と国際理解の促進を目的とした活動を展開して参りました。「奉仕の理想」に基づき、地域の課題解決や青少年支援、環境保護など幅広い分野で貢献できるよう取り組んでおります。例会は毎週木曜日12:30～13:30とし、定期的に会員同士の親睦を深め、また国際的なプロジェクトにも参加。地域と世界に広がるネットワークを活かし、社会的責任を果たすことを重視しています。

編集後記

ハナミズキが咲き誇る季節となりましたが、ハナミズキの花言葉は『感謝』『返礼』です。

先月、佐藤剛ガバナー年度の最大のイベントである地区大会を、皆さまのご支援のもと、無事に終えることができました。ご多忙の中、多くのロータリアンの皆様にご出席を賜り、心より御礼申し上げます。皆さまの温かいご理解、ご協力、そして力強いご支援のおかげと感謝しております。ロータリアンの皆様と交流を深める貴重な機会となり、大変印象深い大会となりました。

佐藤ガバナー年度も残りわずかとなりましたが、最後まで精一杯務めてまいります。(月信担当幹事 千田弥生)